
マリンスノウ

亀仙人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マリンスノウ

【Nコード】

N3067E

【作者名】

亀仙人

【あらすじ】

私と同じ経験した方も居られると思います 二度と同じ過ちをし
たくないし、中絶は、一生消えない過ちです

マリンスノウ

マリンスノウ

母として、このお腹の子を幸せにしてあげれるか

母として、私のお腹にいる子を幸せにしてあげれるのか

幸せに溢れた1ヶ月は、どこに消えたのかな

【愛情もろくに注がれてない子に、子供産む資格なんてないわ】

頭の中は毎日その言葉。

毎日、毎日が不安で仕方がなかった。

相談さえ、親友にも言えなかった。

彼氏にさえ、本当の気持ちを言えなかった。

5月10日

夢の中で赤ちゃんが
出てきた。

その日は、彼氏は給料日。
帰りが遅い日。

いつも通り、終わったメール。

夢に出てきた事が
気になり、薬局へ

まさかなあゝ 笑

薬局から家へ
帰り、早速検査薬。

反応は

うつすら陽性!!!

嬉しさのあまり
興奮しながら
あなたに電話したね。

何回、何十回かけても
出なくて

泣きながらメールしたんやで

やっと返事が
きたと思ったら

【もっかいしてみる!!】

また薬局に行き、
家に帰り

やっぱり陽性。

【できてる!!】

良かったなの一言

頭の中は
不安でパニック

大袈裟に言べや、あいつ と思いながら

お腹を優しく擦った

あの日。

1人幸せな気持ちで
いっぱいだった5月。

次の日。

一緒に行った産婦人科。

照れながら二人で

行ったね

【まあ、できてると思いますが、まだ見えないので二週間後また来て下さい】

先生から

そお言われて帰ったね。

二週間後

【おめでとつございます】

なんかその言葉が

照れ臭くて

モニターを見ながら

素直に初めまして。

そう呟き、先生の話聞いた。

あの頃、あなたは嬉しかったですか？

幸せでしたか？

私は、幸せでした。

あなたと袖月に
出逢えた日。

今日から三人やなッ！！！と
一緒に寝た日。

優しく、私のお腹触った日。

エコを見ながら日に日に
大きくなるのを見たね。

色々な壁に
ぶつかる毎日。

ただ、一緒に乗り越えよな!!

そんな言葉を
毎日望んでた日々

私だけにしか
分からない、袖との繋がりに。

私一人の子供みたく
寂しかった日々。
不安な日々

毎日
喧嘩をするように
なったね

その度に
お腹が痛くなる

喧嘩が終わったら
1人、袖月に謝った

あの時、
絶望的やったんやで

お腹に向かって
お皿投げた時、

お腹の上に乗って
私を押さえた日

あなたと
やって行く気持ち
が無くなりました。

幸せに満ちた日々は
一瞬にして
粉々になりました

私と子供の居場所は
ないんやな

皆に反対され、

毎晩掛かってくる
私の親からの
泣いてる声

泣いて何回も
親に頼んだ日

あなたのお母さんに
言われた言葉。

【愛情もろくに注がれてない子に子供産む資格なんてないわ】

悲しかった

子供に
罪はないんや。

私は、幸せや。

胸張って、この家に
産まれた事言えるわ

心の中で

声殺すように

叫んだ一瞬

電話に

でれなくて振られた日。

迎えに来てくれると

信じてた

私と柚が

二人きりになった

あの夏の日。

僕は孤独の海。放り出されて

もうさ、溺れてしまっのかなあ？

とはいえ這い上がれない。どうせ墮ちるなら朽ちて深海魚の工サに

なれ

毎日、電話した日。

泣きながら

祈った日

こんなに自分は1人では

なんにもできないって

実感した日

君の事空気がみたいだと思ってた。失くし

たら息苦しくて

私には

母親になる資格なんてない。

こんなに弱い自分。

存在を愛情に求めていた好意はカタチだ
けになっていった。感覚が鈍っていく。何も聞こえない。目を閉じてる
かもわからない。君の仕草、君の中の温もり 浮かんでは消えてい
くんだ

お腹を触りながら

謝った日。

一緒にこの子と

死のうとした日

毎日が、二人で死ぬ事しか考えられなかった日

まさかね

お金を持って一緒に

病院行った日

入院。

死産になるとは

思ってたなかった

都合良く

神様を信じてた日。

世界が今断ち切られて、もがけば絡まり、
絶望に染まってく、僕がもっと、君の瞳をみていられたなら 体が
ただ沈んでゆく、涙も叫びも 深海がさらっていく どうせならも
う 抜け殻になってしまえば
ずっとこのまま時間を超えて深い意識の淵、漂っていられたら 僕
は1人、ここで生まれ変わるのかな

4日の入院

私は、一生許されない事をした。

子宮を2日続けて開ける。

痛さと恐怖で

耐えきれなかった。

けど

痛み止めを

飲む気になれなかった

自分がした罪は
これ以上に痛いもの

陣痛の痛さも、
私より、子供の方が痛かったよね

終わった時、
お腹が軽くなった

いなくなった実感で
涙が止まらなかった

あの時、
産んでいても
私には、幸せにする力も
なかった。

けど
殺した事、一生消えない罪。

だから
毎月、謝る事しか
できないお母さんを
許して下さい

箱に入った
あなたを冷たいあなたを
抱いてあげる事しか
できなくて

本当にごめんなさい

もう、泣いたりしない。

強くなるからね

ずっと、ずっと

忘れないからね あん時産んであげても
私には何もして

あげれんかった思うし

どっちみちあの人とは

別れてたと思う…

私も下ろしとるけど

中絶はめっちゃ反対…

やけど子供が死んで

よかったなんて事ないけどあん時産んでも私には
幸せに出来んかったと思う。

あん時無理すれば

産む事も出来たやろう

けど幸せにはしてやれん

かった思うし生んでも

辛い思いさせるだけやったと思う…今の私はどんな
理由があっても中絶は

嫌って思うけど…

やっぱり現実的に中絶

しなアカン人も沢山

居るし…産むだけなら

誰でも出来るけど

それから先の子供の

人生も親にかかってくる

ごつつデカイ責任やから

ただ産めば良いって話

じゃないから…正しいとは思わんけど中絶も仕方ない時もあるんや
と思う…

ただ忘れる事はできんし

忘れたいとも思わへん。

誰との間の子供でも

自分の子供やねんから

愛しいに決まってる。

子供の分も

自分が幸せになって

子供の事も

覚えててあげたい。

少しでも存在してたのに

忘れられたら誰だって

悲しいはずだから

毎月、お線香をあげに行く日

【ごめんなさい。お母さん頑張るからね】と呟く。

きつと、何年たつても、何十年たつても、私は毎月欠かさない。

私には

こんな事しかできない
情けなさを日々感じる

寂しくなったり

弱くなったら

月をみような。

袖月が

励ましてくれるから。

二人別々になつたけど

ずっと、袖月のパパは

あなただけです。

男には

分からない、痛みかもしれない。

けど、忘れないでいて欲しい。

また笑顔で逢えるまで
バイバイ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3067e/>

マリンスノウ

2010年12月30日04時29分発行